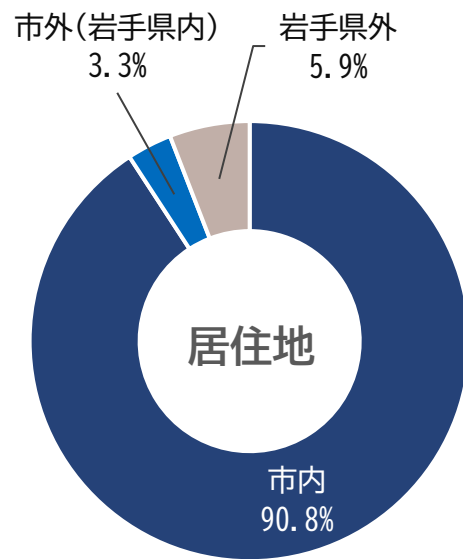
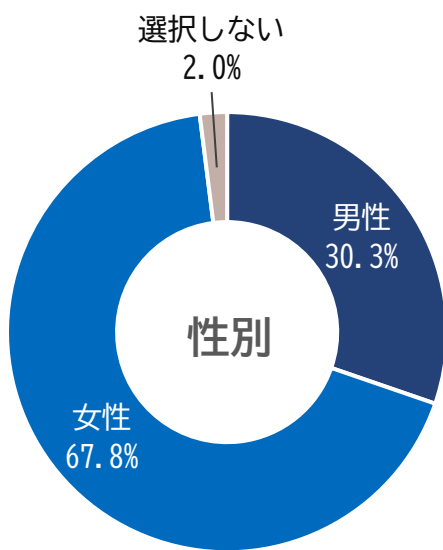


# 広報おおふなと読者アンケート 集計結果

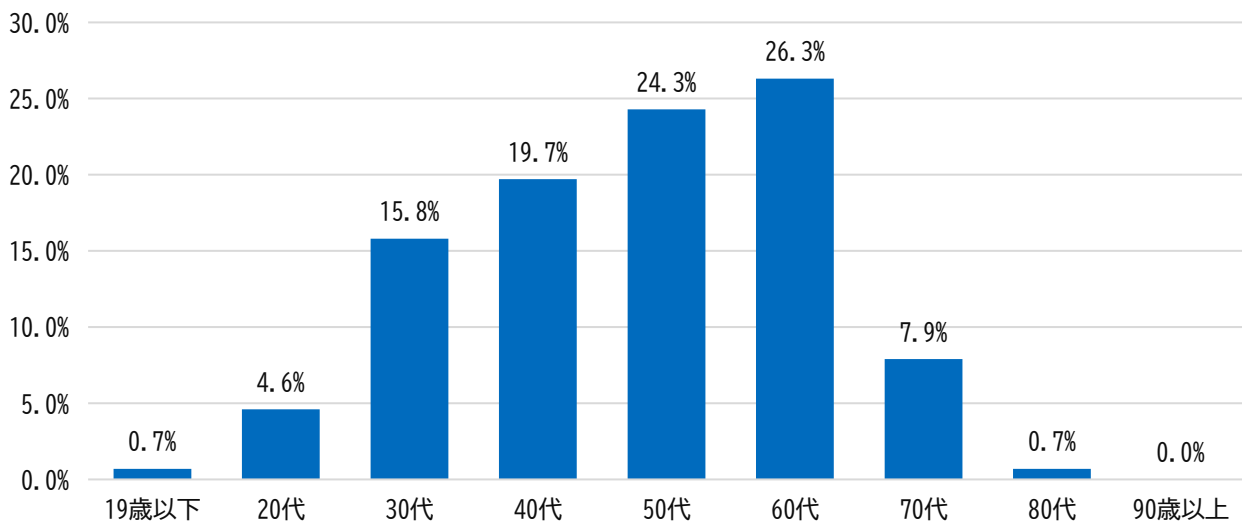
## 1.調査概要

- (1) 調査目的 より読みやすく、親しみやすい「広報おおふなと」を作るため
- (2) 実施期間 令和7年8月8日～9月19日
- (3) 周知方法 広報紙、市ホームページ、市公式SNS（X、Facebook、LINE）
- (4) 回答方法 ウェブアンケート（Microsoft Formsを使用）
- (5) 回答者数 152人

## 2.回答者の属性



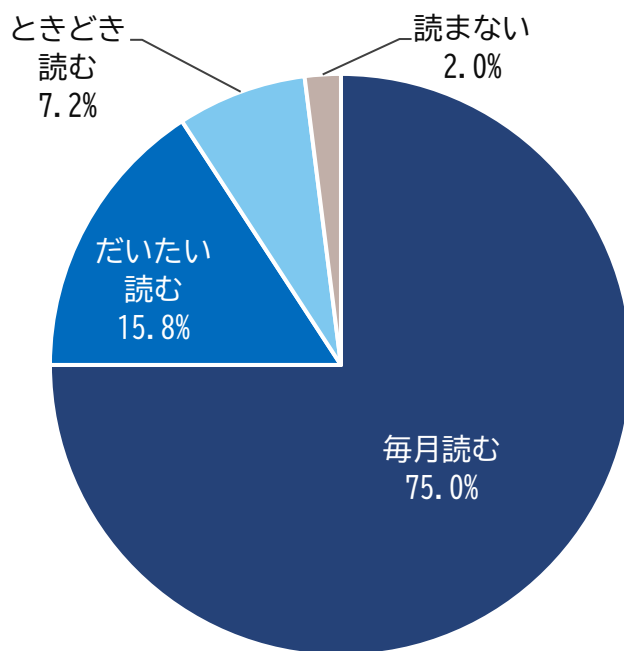
### 年代



回答者の大半が「市内在住」であり、広報紙が主に「市民向けの情報源」として機能していることが分かる。子育て世代～現役・シニア層に広く読まれている。今後は、若年層（10代・20代）の読者層が増えるよう工夫したい。

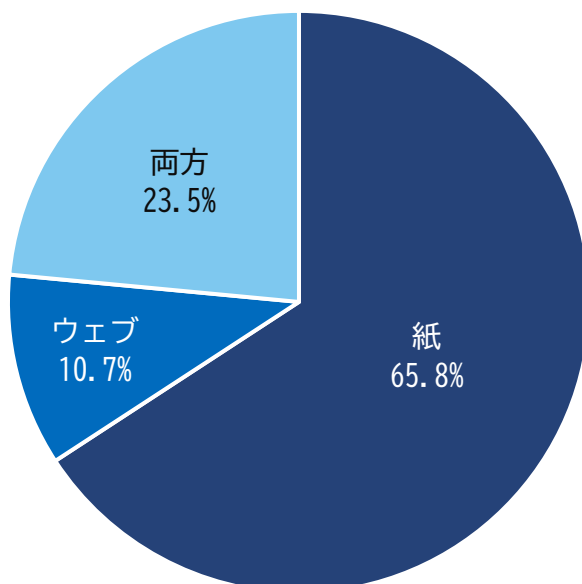
### 3.アンケート結果（全体）

#### 広報おおふなを読む頻度はどれくらいですか？



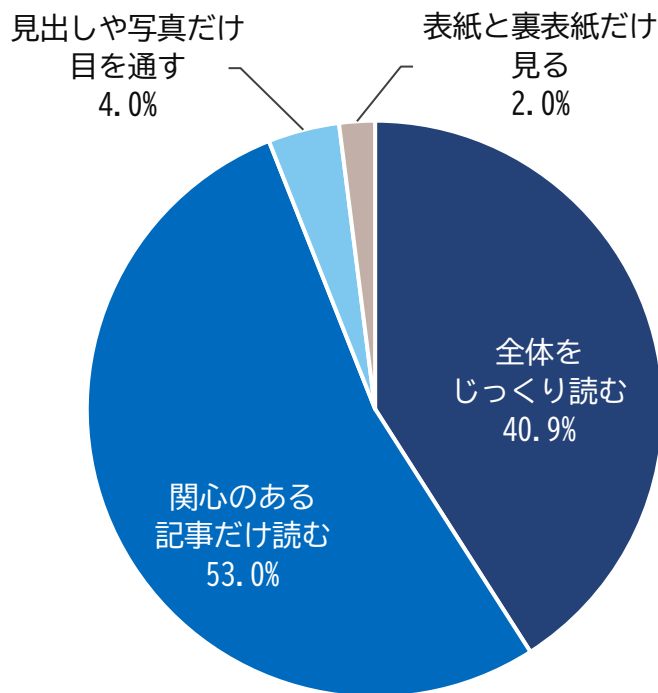
「毎月読む」「だいたい読む」と回答した人が多く、広報紙が生活に根付いた媒体であることが確認できた。

#### 「読む」を選択した人にお聞きします。どの媒体で読んでいますか？



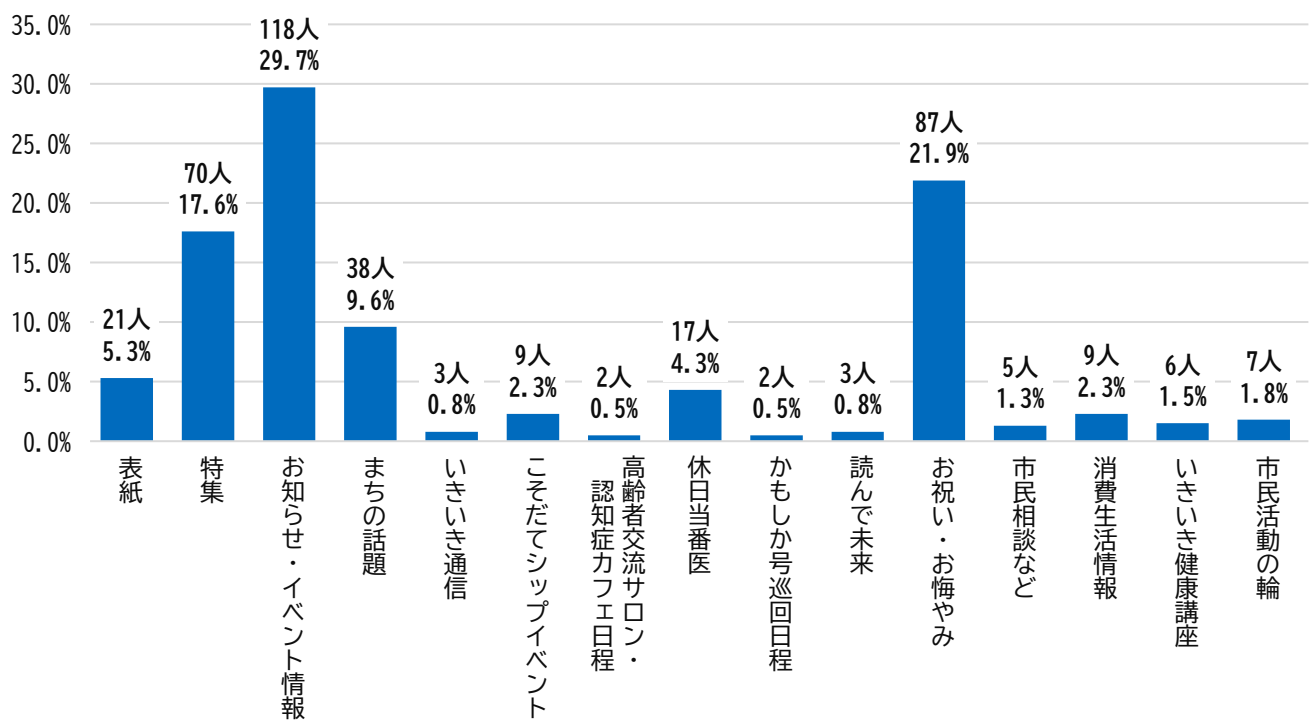
「紙」だけでなく「ウェブ」で読んでいる層が一定数存在。  
「紙が基本、必要に応じてウェブで読む」という二層構造で、ウェブ版は“代替”ではなく“補完”として活用されている印象である。

「読む」を選択した人にお聞きします。どのように読んでいますか？



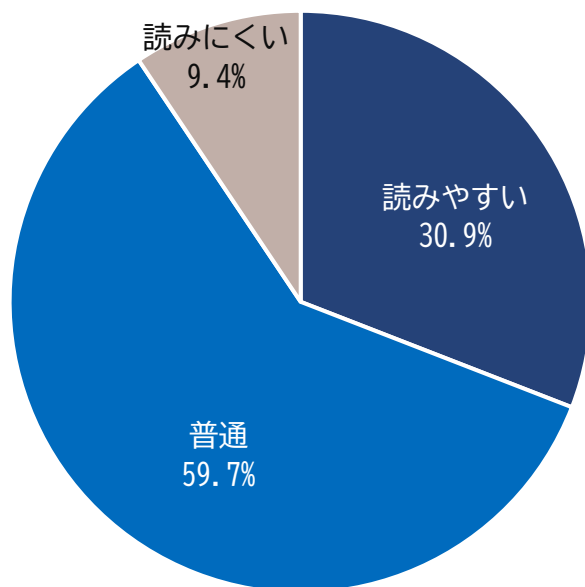
「全体をじっくり読む」「関心のある記事だけ読む」の2タイプが主流。特にも「関心のある記事だけ読む」という人が半数以上であり“拾い読み”される前提での構成が効果的だと考えられる。見出し・写真・レイアウトの役割が非常に重要。

「読む」を選択した人にお聞きします。よく読む記事はどれですか？（3つまで選択）



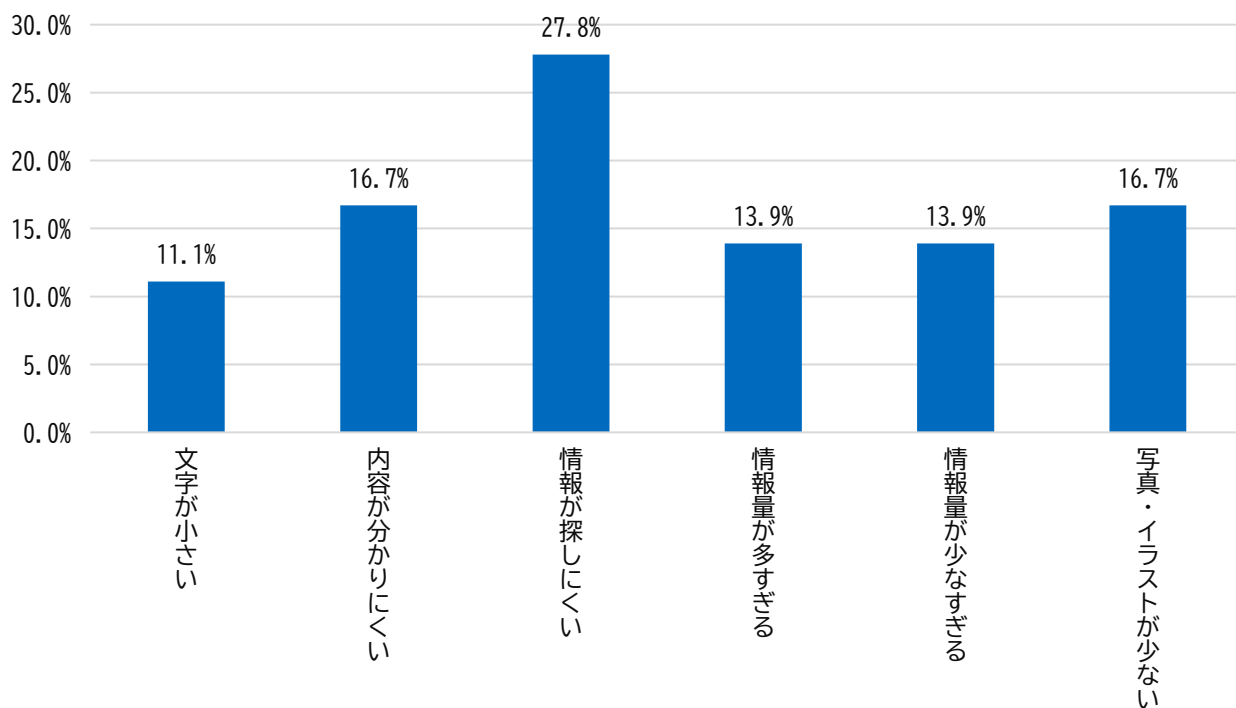
実用情報・地域性のある記事が特に支持されている。特集も一定の支持を集めており、興味関心があればしっかり読まれる価値の高いコンテンツと推測される。

「読む」を選択した人にお聞きします。広報おおふなとは読みやすいですか？



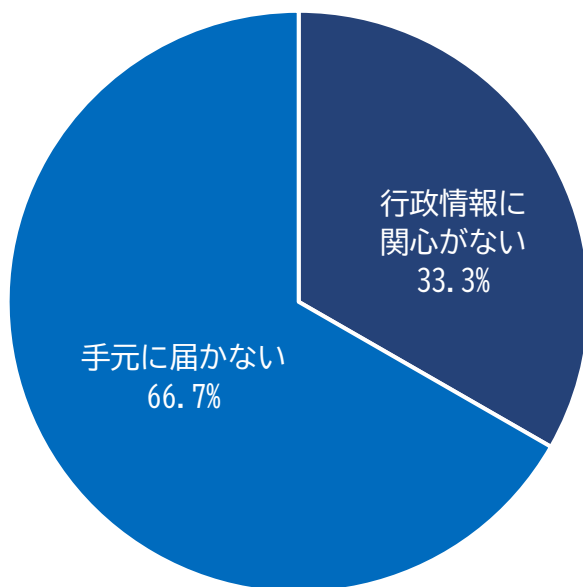
「普通」が多数、「読みにくい」という意見は少数にとどまった。大きな不満は少ないが「すごく読みやすい」という評価にまでは至っていない可能性。

「読みにくい」を選択した人にお聞きします。読みにくい理由は何ですか？（3つまで選択）



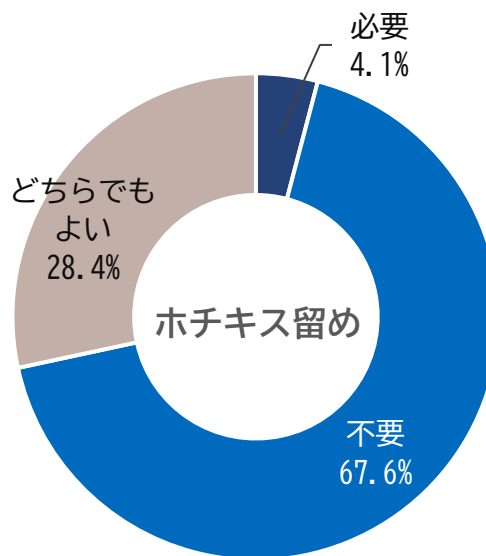
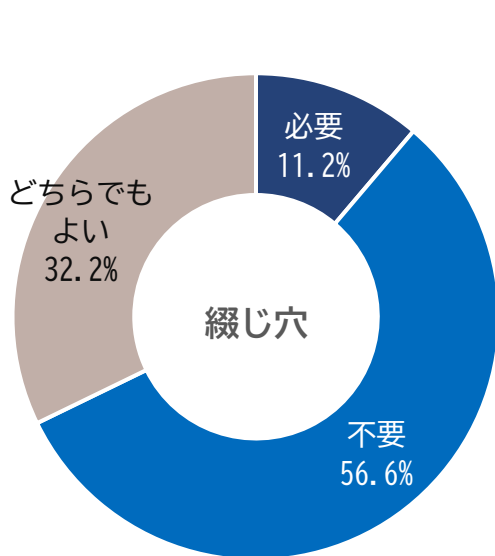
文字量、情報の整理、強調の仕方といった面で、改善の余地がある。

「読まない」を選択した人にお聞きします。読まない理由は何ですか？



単なる行政情報の周知だけでなく、地域の話題や人物を紹介するといったカジュアルなコーナーの充実化を図っていく必要がある。

広報おおふなとに綴じ穴（パンチ穴）やホチキス留めは必要ですか？



広報おおふなとに掲載してほしい情報や、取り上げてほしいテーマ（自由記入・一部抜粋）

- ・ イベント情報をもっと分かりやすく、探しやすく掲載してほしい。（30代・女性）
- ・ 新しくオープンした店舗やお店の紹介を載せてほしい。（30代・男性）
- ・ 公共施設の利用方法や利用時間など、生活に役立つ情報をまとめてほしい。（30代・女性）
- ・ 人が亡くなった後の手続きや、離婚後に必要な手続き、利用できる制度、内職募集など、生活に直結する情報を載せてほしい。（30代・女性）
- ・ 地域産業や地元企業の取り組みについて、特集として紹介してほしい。（60代・男性）

### その他、広報おおふなどについての意見・要望（自由記入・一部抜粋）

- ・ 紙の広報でないと応募できない取り組みがあるように感じる。紙とデジタルで情報の出し方を統一してほしい。(60代・男性)
- ・ 広報紙が複数発行されている（広報おおふなど、議会だよりなど）ため、できれば一冊にまとめてほしい。(60代・女性)
- ・ 以前よりとても見やすくなったので、今の構成や雰囲気をおののまま続けてほしい。(30代・女性)
- ・ 広報紙は見やすいが、市公式LINEでは火災情報などの緊急情報も知りたい。(40代・女性)
- ・ 地域行事の写真が特定の地域に偏っているように感じるため、掲載のバランスに配慮してほしい。(40代・女性)

## 4.まとめ

今回の読者アンケート結果から、読者は広報紙から関心のある情報を選んで読む傾向が強く、特にイベントやお知らせなどの実用的な情報については、より分かりやすく整理された掲載が求められていることが分かりました。今後は、見出しやレイアウトの工夫により、必要な情報を見つけやすくすることを重視していきます。

また、生活に直結する情報や地域の動きに関する要望も多く寄せられていることから、特集や記事内容については、市民の暮らしとの関わりを意識したテーマ設定を行い、より身近な情報の充実を図ります。

あわせて、紙媒体とウェブ版を併用して情報を得ている読者が一定数いることを踏まえ、紙とデジタルそれぞれの特性を生かしながら、情報内容に差が生じないように整理し、相互に補完する情報発信を進めていきます。